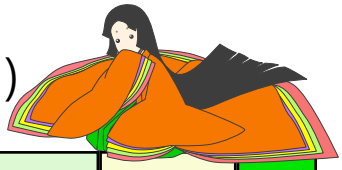
ニフティキッズ
https://kids.nifty.com/

百人一首（歌番号一覧：31 ～ 40）



番号	上の句	下の句	作者
31	あさぼらけ ありあけのつきと みるまでに 朝ぼらけ 有明の月と 見るまでに	よしののさとに ふれるしらゆき 吉野の里に 降れる白雪	さかのうえのこれのり 坂上是則
32	やまがわに かぜのかけたる しがらみは 山川に 風のかけたる しがらみは	ながれもあえぬ もみじなりけり 流れもあへぬ 紅葉なりけり	はるみちのつらき 春道列樹
33	ひさかたの ひかりのどけき はるのひに ひさかたの 光のどけき 春の日に	しずこころなく はなのちるらん しづこころなく 花の散るらむ	きのとものり 紀友則
34	たれをかも しるひとにせん たかさごの 誰をかも 知る人にせむ 高砂の	まつもむかしの ともならなくに 松も昔の 友ならなくに	ふじわらのおきかぜ 藤原興風
35	ひとはいさ こころもしらず ふるさとは 人はいさ 心も知らず ふるさとは	はなぞむかしの かににおいける 花ぞ昔の 香ににほひける	きのつらゆき 紀貫之
36	なつのよは まだよいながら あけぬるを 夏の夜は まだ宵ながら 明けぬるを	くものいずこに つきやどるらん 雲のいづこに 月宿るらむ	きよはらのふかやぶ 清原深養父
37	しらつゆに かぜのふきしく あきののは 白露に 風の吹きしく 秋の野は	つらぬきとめぬ たまぞちりける つらぬきとめぬ 玉ぞ散りける	ふんやのあさやす 文屋朝康
38	わすらるる みをばおもわず ちかいてし 忘らるる 身をば思はず 誓ひてし	ひとのいのちの おしくもあるかな 人の命の 惜しくもあるかな	うこん 右近
39	あさじうの おののしのはら しのぶれど 浅茅生の 小野の篠原 忍ぶれど	あまりてなどか ひとのこいしき あまりてなどか 人の恋しき	さんぎひとし 参議等
40	しのぶれど いろにいでにけり わがこいは 忍ぶれど 色に出でにけり わが恋は	ものやおもうと ひとのとうまで 物や思ふと 人の問ふまで	たいらのかねもり 平兼盛